

革新する技術、創造する未来 ~夢へ翔る 熊本高専~

# 熊本高専だより

第  
2  
号

2010.Mar.

テーマ

卒業生に向けて

## CONTENTS

- ・熊本高専 第1回 卒業生を送るにあたって 1~2
- ・卒業に寄せて ..... 3~8
- ・進路速報 ..... 9~12
- ・退職教職員からのメッセージ ..... 13~16
- ・委員会より ..... 17~18
- ・学生会・寮生会報告 ..... 19~20
- ・キャンパス近況 ..... 21~26
- ・インフォメーション ..... 26
- ・学校行事・編集後記 ..... 裏表紙



熊本高等専門学校



# 熊本高専第一回卒業生を送るにあたって



## 年輪に思う

校長 宮川 英明

2008年秋にアメリカの金融問題に端を発した経済不況が未だに回復できない状況下で、2009年11月時点での失業率は5.2%、有効求人倍率は0.45倍と雇用は依然として厳しい状況にあります。その影響を受け、2010年3月の大卒求人倍率は1.62倍、高校では0.71倍と極めて低い水準です。高専でも低下は避けられなかつたものの10数倍の高倍率を維持しており、高専だけが際立っています。これは先輩方が信頼される技術者として、あるいは会社や部門のリーダーとして輝かしい実績を残してこられたことによるもので、高専教育が高く評価されているお陰であります。学生諸君は先輩方の努力に対して感謝の気持ちを忘れずにこのすばらしい伝統を受け継ぎ、技術力・人間力を備えた信頼される技術者を目指して努力を重ね、後輩に引き継いでいただきたいと思います。

高専卒の就職が他校種に比べ好調とはいえやはり厳しい状況にあり、目標とする企業にあるいは希望の職種に職を得るためにには大変な努力を必要とします。就職が厳しいときは、大学院や専攻科等の進学においても競争倍率が上がる傾向が見られ、進学を目指す人たちにとっても狭き門となります。

四季がある地域で成長した樹木には明瞭な年輪が見られます。針葉樹などでは、春から夏にかけて豊富な光と温ぬ環境の下で軟らかく淡い色の細胞がたくさん作られますが、夏が終わり秋になると厳しい環境になるため成長が鈍り濃い色の硬い組織が作られ、濃淡が交互に並んだ年輪が形成されます。日本の家屋では、年輪による木目を活かして落ち着きとぬくもりを演出している板や柱が多く見られるので学生諸君もよく知っていると思います。古い民家に見られる凹凸に富んだ雨戸などは、年輪の硬い組織だけが長年の風雪に耐え凸状に残ったもので、家を守ってきた風格さえ感じさせます。

就職難で苦労した世代は、相対的に生き活きと能動的な人生を送る人が多いといわれています。1973年の第1次オイルショックは当時の高専生の就職にも大きな影響を及ぼし、その後の数年は厳しい状況でした。学生たちは何とか乗り切り、厳しさをばねにして、好調なときに就職した人たちよりもかえって信頼を得て充実した人生を送っている人が多いようです。厳しい環境で成長した年輪の硬い組織が木材の強度のもとになるように、人間も困難を克服する過程で強くて逞しく、かつ心の広い信頼される人に成長するのではないかと思われます。経済状況が厳しいときにめぐり合わせたことをマイナスと捉えず、成長の好機と考えてみてはいかがでしょうか。

社会で活躍する高専卒業生を紹介した本『自指セ！プロフェッショナルエンジニア われら高専パワー全開』(日刊工業新聞社)から株式会社サプライの代表取締役社長をされている折居正広氏の言葉を紹介します。「私が高専を卒業した1976年は、第1次石油ショックの後遺症で大変な就職難の時代でした。私の就職が決まったのも5年生の秋頃でしたが、その時、社会人になるにあたっての人生計画を立てました。30歳になるまでに「会社設立」「結婚」「マイホーム購入」を実現しようと考えたのです。いろいろなことがありました、29歳でほぼすべてを実現できました。夢は持ち続け、諦めなければ必ずかなうということを実感しました。・・・若い人たちに伝えたいのは、夢を持つこと、諦めないこと、若いときには買ってでも苦労をするべきだということです。人はそれぞれの苦労の過程で、ぶつかった壁からいろいろなことを学ぶのだと思います。・・・」

山あり谷ありの人生では予期せぬ困難に時折遭遇するものです。不運なときにも境遇を恨まず、自分が成長できるチャンスと捉えて立ち向かい、その時々の状況において今何をなすべきかを考え、生きるべき方向をしっかりと見定めて、自分を信じ主体的に生きていくてほしいものです。皆さんのがすばらしい年輪を刻んで魅力あふれるリーダーとして活躍されることを願っています。



**飛翔 !! 熊本高専卒業生**  
熊本キャンパス後援会  
会長 境 町子

熊本高等専門学校ご卒業、誠におめでとうございます。熊本高専は、人間力を備えた国際的にも通用する実践的・創造的な技術者の育成及び科学技術による地域社会への貢献を理念として、昨年設立されました。その第一回卒業生として旅立たれる皆様は、知識力・技術力のみならず、熊本キャンパスで過ごした5年間あるいは7年間、「**自由な校風**」の中、自主的に考え、自分自身とその価値観と向き合い、正直に生きることを学ばれたのではないでしょうか。ルールではなく、自分自身の信念に従って正しい道を歩む大切さを感じてこられたと思います。

近年の世界的な金融危機は、世界各国の実体経済に深刻な影響を及ぼしており、国内ではデフレが大きな不安要素となっています。こうした時代ではありますが、高い評価と今後一層の高度化への期待に応え、高専が、産業界・地域社会との幅広い連携を進め、ますます発展される事を願います。

また、卒業生の皆様も在学したことに誇りを持ち、科学技術に基づく社会のイノベーションを創出できる技術者として幅広い場で活躍され、後輩達の道標となられるよう期待しています。

同じ学び舎で、学生として、職員として、保護者として、立場は違えども良き環境の中で高めあって過ごせた日々を宝と想い、「**おめでとう！ありがとう！飛翔 !! 熊本高専卒業生**」の言葉を送ります。

最後に、校長先生をはじめ、学校関係者様の学生指導に深く敬意を表しますとともに、学校教育に側面的なご支援・ご協力いただきました保護者の皆様へ厚くお礼申し上げます。



**幸せになるということ**  
八代キャンパス後援会  
会長 満島 裕二

熊本高専の第一回卒業生として巣立たれる皆さんに、そして保護者・ご家族の皆様に対し心から敬意を込めてお祝い申し上げます。

さて、卒業生・修了生の皆さんには、これまで数多くの人たちに見守られ、支えられて学生生活を送ってきました。これからは、皆さんのが誰かを見守り、支えていく立場となります。「人の為に何かをするという事は、自分の為でもある」そう言ったのは、釈迦でした。「人を幸せにすることは、自分も幸せになるということ」とも言っています。

この「幸せになる」という事に関しての、釈迦にまつわるエピソードがあります。釈迦の周りには、釈迦を信仰する人たちが千人以上集まって、一つの集落みたいになつて生活していたそうです。この集団では、自分のことは可能な限り自分でする・・・そして、どうしても出来ない時に、周りに向かってこう言ったそうです。「誰か幸せになりたい人はいませんか」と・・・。ある時、年輩の女性が、針仕事をしようとして針に糸を通そうとしても目が悪くてなかなか上手くいきません。そこで「誰か幸せになりたい人はいませんか？」と声をかけると、前を通りかかった人が「私がさせていただきます」と近寄ってきました。女性がその人の顔をよく見ると、なんとその人は釈迦でした。女性は恐縮して「こんなつまらない事をお願いするなんて、失礼しました」と言って針と糸を取り戻そうとすると・・・釈迦は、こう言ったそうです。「何で私がやってはいけないのですか。私だって幸せになりたいんです」と。

幸せになるということ・・・それは、決して難しいことでは無いのかも知れません。人を思いやり、人の為に何かしら役に立つ事をする・・・これが、幸せになる秘訣なのでしょう。

皆さんの幸せを、心から祈ります。

# 卒業に寄せて

[熊本キャンパス]



## 進学にあたって

情報通信工学科

柳田 了輔

4 年の進路選択の時期にさしかかって就職か進学か選択するに際して、私は悩んだ末進学を選びました。家庭の事情などもあり就職にしようかと考えたこともありましたが、研究をやっていきたいという気持ちが強かったので進学にしました。私は研究がやりたかったので専攻科を選びましたが、今ではもっと努力をして大学を受験をしていてもよかったですかも知れないと考えています。やはり電波高専で学習している内容だけでは物理や英語などはどうしても弱いかなと思ったからです。今後のためにも勉強しておく価値は十分にあったかなと思います。専攻科を卒業した後のことについてはまだ悩んでいます。ですが進学か就職どちらにいっても大丈夫なようにしっかりと勉強して、研究にも力を注ぎ学会発表などにもどんどんいければと考えています。

卒業生・修了生のメッセージ



## 技術力を求めた 5 年間

電子制御工学科

松永 英也

ものづくりに興味を持っていた私は、「実践的な技術力を身に付ける」ことを目標に 1 年次からプログラミング技術を磨きました。4 年次には中島研究室において全ての休暇を費やしてものづくりに励みました。これが 5 年次の卒業研究へと発展し、「実際に乗車した感覚で操縦可能な自動車遠隔操作システム」を完成させることができました。このシステムの展示を第 17 回電子情報通信学会九州支部会やセミコン・ジャパン 2009 で行い、多くの方々からアドバイスを頂けたことは非常に有意義な経験でした。挑戦できる環境があり、熱心に指導して下さる先生方がいることが高専の美点であると思います。卒業後は専攻科へ進学し、世界に通用する技術者を目指し日々努力したいと思います。



## 卒業を迎えて

電子工学科

赤星 恵太

私が電波の門を叩いて早 5 年。入学してすぐは、高専という特殊な校風に戸惑いました。1 年生から見た 5 年生なんてオッサン！ 勉強も難しく、数学は鬼でした。私自身も 2,3,4 年と T 山教諭に徹底的にヤられましたし(泣)。

部活動では、ロボコン部に在籍し「勉強なんて二の次」をモットーに徹夜でロボットを作っていました。深夜ラーメンのどっかり感は思い出しただけで吐き気がします。…そんな思い出だらけの電波を、私は忘れません。これからは電波高専卒業生として胸を張って生きていきます。

最後に後輩へのメッセージ…進級が危ないキミ！ 自分だけじゃ解らないことは、迷わず先生や友達に相談しましょう！



## 就職活動を振り返って

情報工学科

櫻川 武

私は、関西電力株式会社に就職内定しました。いろいろあった企業の中から関西電力を志望した理由は、いくつかの説明会に参加した中で最も自分に適した会社であると感じたからです。就職活動でもっとも大切なことは、就職説明会などに積極的に参加することだと感じました。積極的に就職説明会に参加することで、自分の本当に行きたい会社はどこかということをしっかりと考えるたくさん時間を持つことが出来ました。また、企業の方々と多く話することで、言葉使いや社会人としてのマナー等も意識して改善する良い機会となりました。これから先、電波高専で培った忍耐力、コミュニケーション力などを活かして、高専生として恥ずかしくない社会人になりたいです。最後になりましたが、就職の世話をしてくれた先生方には感謝しています。本当にありがとうございました。



君たちはここで育った  
情報通信工学科 5年担任  
准教授 西山 英治

卒業生の皆さん卒業おめでとう。  
諸君らは、長い教育を修めることができてうれしいことと思うが、まず、ご両親に感謝の気持ちを恥ずかしがらずに伝えてほしい。

在学中は、学業や学園祭あるいは部活に熱を入れた者など、下級生の下積みの時代から上級生になっても本校を盛り上げてくれて、本校教員・OBとして感謝したい。

私事であるが、私も君たちと同じく24年前本校を卒業し、東京へと旅立つていき、社会人としての一歩を踏み出した。そこでは、学校とは違う社会と連動した場所であり、ダイナミックな場所であった。

諸君らも4月からは就職・進学など自分の道を切り開き、成功と失敗を繰り返し成長することだろう。しかしながら、挫折の連続でどうしようもない場合がある。

そんなときは、熊本に帰ってきて自分を見つめなおしてほしい。

君たちはここで育ったのだから。  
ここには、ご両親・友人・教員・後輩みんないる。



3年間の成長と共に  
電子制御工学科 5年担任  
准教授 藤本 信一郎

卒業おめでとうございます。君らの担任を務めたこの3年間は非常に楽しいものでした。初めて専門学科に移り少し緊張していた3年前の4月の君らのことが非常に懐かしく思い出されます。4年次のシンガポールおよびフィンランド・エストニア研修旅行では、当初は海外ということで戸惑いがちだった君らが、お互いに協力しながら、様々なイベントの中で現地の方々と積極的に英語で会話する姿を見て嬉しく思ったことでした。研修旅行を通して学生相互の結束だけでなく、君らと教員との信頼関係も強まつた気がします。卒業後はこれまで以上に日々成長することが求められます。この5年間で培った実力をもとに、自らの選択に責任を持って、新たな場で活躍することを期待しています。



気概と技術力を持って  
電子工学科 5年担任  
准教授 本木 実

卒業生・修了生の皆様、ご卒業おめでとうございます。電子工学科5年の皆様は私が担任として受け持った初めてのクラスで、4年生、5年生と2年間受け持たせて頂きました。この間、定期試験、海外研修旅行、冬・春のクラスマッチ、就職・進学、卒業研究など厳しくも楽しい様々な行事が行われ、瞬く間の2年間でした。特に就職・進学時期の数か月前のリーマンショックに端を発した不況から就職活動は大変厳しい様相を示しましたが、共に戦線を闘い抜く事ができました。「不況時の学生は就職後強い」とも言われますし、5年間に渡る本校の深い森を見事クリアした気概を胸に、技術力を手に、謙虚にして自信を持って歩んで欲しいと思います。ご活躍をお祈りしています。



藍より青し  
(青出於藍而勝於藍)  
情報工学科 5年担任  
教授 孫 寧平

日本と中国で、同じ意味を持つことわざはありません。しかし、「青は藍より出で藍より青し」は、中国でも同じく「青出於藍、而勝於藍」といいます。意味は、青色は藍から抽出するがもとの藍よりも青いということで、教えを受けた弟子が先生よりもすぐれた人になるたとえです。そして、若者は新しい時代を創り出す責務を背負っていることも意味していると思います。今日みなさんは熊本高専の第1回卒業生として卒業しますが、5年間学校で学んだ知識や経験を糧に、新しい技術を創り出せる技術者になってください。今日は明日への出発点でもあります。みなさんの明るい、素晴らしい未来に心からエールを送りたいと思います。卒業おめでとうございます。

# 卒業に寄せて

[八代キャンパス]



## 部活動を通して

機械電気工学科

松本 隼人

平成 21 年 8 月、八代市で開催された全国高専体育大会で、私はハンドボール部の一員として念願の全国制覇を果たしました。八代高専としては 21 年ぶり二度目の優勝でした。私は中学校からハンドボールをしていたので、入学後すぐにハンドボール部に入部しました。きつい練習に投げだしそうになったこともあります。ですが全国制覇を目標に頑張ってきました。昨年度は 5 年生として参加した大会ではもう少しのところで優勝を獲り逃してしまい苦笑を舐めました。今年が最後のチャンスと新チームで臨んだ今大会について 5 年間の苦労が実を結びました。優勝が決まった瞬間、感無量で思わず叫んでいました。私はハンドボールを通して素晴らしい経験ができること、人として大きく成長できたことに対して感謝しています。みなさんも何か熱中できるものを是非見つけて下さい。

卒業生・修了生のメッセージ



## 5年間の学生生活を振り返って

土木建築工学科

坂川 大介

早いもので、入学時から 5 年の月日が流れた。私は、中学 3 年のときにオープンキャンパスに参加し、自由な校風、独特な雰囲気であることや、就職率が極めて高いことが志望の理由であった。土木建築工学科 5 年間の思い出は、5 年最後の球技大会で総合優勝したことや 4 年の工場見学旅行が楽しかったことである。クラス全体仲が良く、放課後にサッカーやボーリングをよくやった。また、クラブ活動では、5 年間ソフトテニス部に所属し、最後の大会で全国高専大会に出場できた。4 月から九州電力への就職が内定しており、就職試験で苦労したことも良い思い出である。企業訪問を行い企業研究を行つたこと、学科や就職アドバイザーの先生方に面接の練習をしていただいたことも大いに役立ったと思う。面接試験では、企業研究と自己 P R が大切だということが分かった。最後に、思い返してみれば、時間が経つのはとても早いです。在校生の皆さん、一日一日悔いがないように過ごして、学生生活を思いっきり楽しんでください。



## 5年間を振り返って

情報電子工学科

谷川 智美

5 年間を振り返ってまず思うことは、入学してからあつという間だったなということです。この 5 年間でいろいろなことがありました。1 番の思い出は 4 年生での工場見学です。自分たちで行くところを決めたり、計画を立てたり、すこくいい経験になったと思います。毎年あった球技大会も好きでした。みんなで一緒に自分のクラスを応援するのはとても楽しかったです。負けてくやしい思いをすることもありましたが、今ではどれもいい思い出です。

低学年のころは、勉強も難しいし課題も多いし、本当に 5 年もやっていけるのか不安でした。でも今、5 年間がんばってきて本当によかったと思っています。就職していくつかきついと思うようなことがあっても、それを思い出してがんばりたいです。

## 就職活動を通して

生物工学科

浦本 明美

私は、幼い頃からアトピー性皮膚炎で悩んでいました。そのため、将来は人々の健康の助けとなる職に就きたいという夢があり生物工学科を受験しました。就職活動の時期になり、自分の夢を実現するためには製薬会社に就職しなければならないと思い、製薬会社にエントリーしました。しかし、結果は書類審査での不合格という非常に残念なものでした。そのため、私は製薬会社にばかりこだわらず、もっと広い視野で物事を考え「食」という観点から人々の健康の助けになろうと思い食品会社にエントリーしました。そして、内定をいただき自分の夢に一步近づくことができました。

これから進路を決めていく在校生の皆さんの中には、自分の希望する進路に進むことが出来ない人がいるかもしれません。その人たちは、妥協ではなく違うアプローチで自分の夢を叶えてほしいと思います。

最後に、就職活動を行うにあたってお世話になった先生方、先輩、友人に感謝し、春から就職先で精一杯働くことにより恩返ししたいと思います。



夢の実現に向かって  
機械電気工学科 5年担任  
入江 博樹

本科5年生ならびに専攻科2年生の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。今年度の就職活動は、世界同時不況の影響で厳しい様相を呈しました。

この状況下でも、君たちは希望通りの進路へ進むことができ、私も無事に担任を卒業できそうです。某TV番組で大リーガーの松坂大輔が『僕は夢という言葉があまり好きじゃない』という話をしていました。松坂は夢を「目標」に置き換えて、実行してきました。小学生のときから大リーグで野球をすることが夢ではなく目標だったので。俗に大人たちは「夢」を持ちなさい、「願い」や「想い」を続けると夢はいつしか叶うものだと教えてきました。しかし、具体的に夢を実現させるには、彼が言うように目標の設定と日々の努力の積み重ねが必要です。目標は他人が設定するよりも、自分自身で設定することはより効果的です。企業が就職試験で高専出身者を優遇するのは、上下関係の規律、礼儀正しさ、元気を叩き込まれているからだけではなく、仕事上の目標を設定して懸命に努力するプロセスを知っているからと聞いたことがあります。

さあ、卒業生の皆さん、それぞれの夢の実現に向かってがんばりましょう！



一年を振り返って  
土木建築工学科 5年担任  
浦野 登志雄

今年の5年生は、就職・進学希望の進路が順調に決まり、正直ホッとしている。昨年2月の学年末試験終了後、直ちに就職活動が始まった。学生は、土木建築工学科進路資料室へ足を運び、求人資料やインターネット等を活用して、4月の授業開始頃にはほぼ希望先を決定していたようであった。

近年の求人状況を見ると、大手企業をはじめ多くの企業の求人活動が年々早まっている。エントリー締切りが2月末、就職試験が3月中旬という企業もあったため、担任として対応に苦慮することがあった。4月に入ると、就職試験関係書類の作成に追われる日々が続き、特に推薦書作成には苦労した。推薦書に記載する内容が見あたらないのである。しかし、学生は自身の努力により見事試験に合格したのだから立派なものだと思う。ルーズな高専生活では許されていたことも、社会では通用しないことがいっぱいある。このことに気づいたときに挫折しないように強く生きて行って下さい。卒業おめでとう。



贈る言葉  
情報電子工学科 5年担任  
白井 雄二

本年卒業する学生諸君、おめでとうございます。昨年の10月に熊本電波高専と八代高専が統合したので、君たちは、熊本高専の第一回目の卒業生となり、専攻科に進学するものは熊本高専専攻科の第一期生になるわけです。このことはカッコよく聞こえますが、就職に関しては、非常に苦しい年でしたね。

一昨年のリーマンショックにより昨年度に比べて、就職状況が悪くなることは予想されていましたが、今までにないひどい状況でした。求人数は最悪の年に比べれば多かったのですが、採用数が減らされた結果、厳選され、情報電子工学科では最初の希望の会社で内々定とならない学生が半分近くいました。いまだに、情報コースの学生で決まっていない学生がいるということは、今までにないことでした。大学や高校はさらに深刻ですが、高専だからといって必ず就職が決まるという神話は通用しなくなってきたようですね。しかし、その難関を突破した諸君らは、厳選されて入社するわけですから、自信を持って仕事をしてください。

在校生もしっかりと目標を持ち、勉強に励んでくださいね。

贈る言葉  
生物工学科 5年担任  
浜辺 裕子

5年生および専攻科2年生の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。

本年度の就職活動は、世界的不況の影響で、学生、保護者、教職員全員が不安の中スタートしました。学生は春休み返上で、就職活動を行い、早い時期に全員が内定を頂く事ができました。進学希望者もそれぞれ志望する専攻科・大学に合格しました。卒業生は、家族や支えて下さった人々への感謝を忘れず、4月から新たな生活をスタートさせて下さい。

「物の興廃は必ず人に由る。人の昇沈は定めて道にあり」という言葉があります。世の中が良くなるのも悪くなるのも人次第。広く学ぶことによって自分の進むべき道が見えてくるということです。日々が勉強なのです。偏った知識ではなく、視野を広く持った社会人になってください。

### 趣味とともに生きる



専攻科(熊本キャンパス)  
電子情報システム工学専攻 錢神 裕宜

保育園時代の保育士、小学校や中学校時代の教育実習生——。今まで私が会ってきた、今の私と変わらないくらいの年齢だった彼らは、自分の夢を明確に持っているように輝いていました。

そんな彼らとは違い、私は明確な夢も、それどころか目標さえ持たぬまま専攻科へと進学しました。

ただ、私は他の人に『これだけは負けない』というたった一つの能力を持っていました。それはWeb プログラミングに関する能力であり、本科時代から暇さえあれば趣味として Web プログラミングを行なっていました。

そして、たった一つのその能力を生かすため、来年度より東京大学大学院新領域創成科学研究科人間環境学専攻メディア環境学分野で大学院生活を送ります。

趣味とともに生きることがのんびりした私の性格に合っているので、その他の趣味 (Keyword: Janne Da Arc, 広島東洋カープ, etc)とともにのんびりと、けれど社会に貢献できる技術者になるという目標は見失わずに大学院でも頑張ります。

### 研究から学んだこと



専攻科(八代キャンパス)  
生産情報工学専攻 E 系 濱田 雄一

専攻科(特に 2 年次)では、研究活動が学生生活の大きなウェイトを占めることになります。研究活動においては、研究の内容はもちろんのことながら、スケジュール管理の重要さについても勉強することになったと思います。研究は他のレポートや課題と異なり、数日で終わらせることができるものではありません。常に少しずつ進めながら、他の用事との兼ね合いをとっていくことは、1 つ勉強になったことだと思います。またそれを達成する点で重要だと感じたのが、スケジュールを立てるのに必要な情報を自分で手に入れしていくことでした。当たり前のことではありますが、本科時代と比べてみたとき、特に必要性が増すことの 1 つだと思います。

以上の点に限らず、専攻科では様々なことを学ぶことができました。今後の人生において、少しでも多くのことを活かせればと思います。

### わたしの思い出



留学生(熊本キャンパス)  
アニル・クマル

熊本高専に編入して、あっという間に 3 年間！熊本に来たばかりの頃は不安なことが沢山あり、授業や日常会話に少し苦労しましたが、周りの皆に優しく支えてもらい、同学年の 4 人の留学生達とお互いに支えあいながら、なんとかこの 3 年間を乗り越えることができ卒業することができました。クラスメートや寮生と一緒に勉強、部活、クラスマッチを通じて楽しく高専生活を過ごしてきました。私を指導して下さった先生方にも心から大変感謝しています。本校で過ごした 3 年間は本当に私を大きく成長させたと思います。どこに行っても熊本高専の誇りそして、この 3 年間の思い出を忘れずに胸に抱き、自分の夢に向かって全力で頑張って行きたいと思います。皆さんも夢が叶うように精一杯頑張って下さい。



まだ見ぬ、  
10年先の自分へ  
専攻長(熊本キャンパス)  
清田 公保

「超氷河期の再来か」。今年度は、リーマンショックに端を発した世界同時不況と日本の代表的産業である自動車の落ち込みが激しく、経済の冷え込みをまともに受けた状態での就職戦線のスタートでした。

しかし実際に蓋を開けてみると、このような厳しい時代だからこそ優秀な人材を確保したいと専攻科生に対しての推薦希望の会社も多くあり、学生の努力もあって結果的には就職希望者の全員が進路を決定することができました。人事の人からは、高専の実践的な技術教育に対して高い評価をしていただいており、不況にこそ強い高専を強く感じました。表1(P9)に今年度の就職先一覧を示します。

一方、大学院への進学は好調で例年2割程度の進学率が今年度は4割近くまで向上しました。卒業生の大学院での評価も高く、大学院からのオファーも毎年増えており、表2(P9)に示すように、いずれも進学難関大学の大学院への合格を果たしています。しかし、技術の進歩は日進月歩で瞬間に身につくことはありません。卒業生の皆さんには、10年後の自分に誇りが持てるような向上心と、これまで育ててくれた家族や友人達に感謝の気持ちを持ち続けて新しい環境で活躍して欲しいと思います。



輝かしい未来へ  
生産情報工学専攻  
M系担任(八代キャンパス)  
小田 明範

最近の世界的な大不況による企業の採用抑制、これによる狭き門への大学生との激しい就職戦線、これを無事に突破した皆さんの目の前には、希望に満ちた輝かしい未来が待っています。同時にグローバル化で世界中の企業との激しい競争も待ち受けているでしょう。皆さんは、まずは己に自信を持ち、さらに、どのような状況でも自分で新しい道を切り開いていけるよう、誰にも負けない新しい“何か”を身につけてください。

最後に、皆さんが、新天地(企業、大学院)でご活躍されることを心よりお祈りしています。母校にもときどき顔を出して下さい。では、健康に気をつけてお元気で。



新たな伝統に向けて  
同窓会(熊本キャンパス)  
同窓会長 森川 卓亮

熊本電波高専と八代高専が統合され、記念すべき第1回卒業式で卒業される卒業生・修了生の皆さん、おめでとうございます。

就職・進学されるみなさんは、希望に満ちている事だと思います。ただ、現在の世界及び日本の経済状態は、依然として厳しい状態にあります。こういう時こそ、一流のエンジニアに成る為には、常に新しい技術を学び、スキルアップする事が、必要となります。生涯学習を基本に自己研鑽してください。

また、熊本キャンパス(旧電波高専)は、昭和18年からの伝統ある高専で、通信・情報関係では、諸先輩の方達が、素晴らしい業績を築いて来られました。今後は、卒業される諸君が活躍され、新たな伝統を築いて行かれる事を、大いに期待しています。



熊本高専となって  
楷友会(八代キャンパス同窓会)  
会長 亀田 英雄

卒業生・終了生の諸君

この度は大変おめでとうございます。社会情勢は依然として不透明であり、不安定である中にこれから社会を支えていく一員となられる訳ですが、嘆いてばかりでは何も始まらないし、よろしくない。いつの時代も何らかの問題を抱えているのであるし、自分の人生は自らの責任において自らを信じて切り開いていくべきものであると思います。諸君の在学中に熊本県の二校の高専が統合し、栄えある第一回目の卒業生・修了生となりました。学校の形が変わっただけで何かが大きく変わったものではありませんが、そこにはある種の気概があったかと思っています。その気概をこれから的人生においても發揮し、自らを確立し、素晴らしい人生を送って欲しいと心から願っています。

# 2009年度進路速報

[熊本キャンパス]



## 本年度の進路状況について

進路支援室(学生主事補)

大石 信弘

50年に一度と言われる世界同時不況の直撃を受けた今年度の就職・進学活動。前途多難と思われたが、政権交代に伴う目玉政策としての景気刺激策・雇用対策のお陰か、核心を先送りにしたためか不明だが、こと本キャンパスに関しては例年通りの結果を維持できた。関係各位のご尽力の賜物である。

もう少し詳しく見てみよう。

まず就職について。厚労省発表の就職内定率は、12月1日現在で、大学の全国平均73.1%(前年同期比7.3ポイント減)に対し、高専は全国平均96.9%(同1.1増)であった。これは、高専卒に対する企業からの高い評価の表れである。本キャンパスの場合、現時点で「その他の進路」に進む学生は6名で、その内訳は専門学校入学が1名、大学編入試験合否待ちが2名、来年度進学希望が2名、来年度公務員希望が1名であり、企業への就職希望者全員が内定をもらっている。

次に進学について。本校専攻科への進学が進学者全体の5割を超える専攻科人気が鮮明であった。本校専攻科の定員枠拡大や九大大学院へ入学する学生が増えたため、この傾向は今後とも継続すると思われる。これに押され地方大学への希望者は減少傾向であったが、旧帝国大学である阪大、九大や、東工大などへ編入を果たした学生もいる。彼らの火を絶やさないよう今後も続けて欲しい。最近大学ではGPA(履修科目の評定の平均)を席次や推薦順位に利用しようとする流れがある。高専生に対し、3年編入時のGPAをやや低く抑えている大学もあるが、多くの大学はどの程度のGPAにするか流動的である。大学の高専生に対する評価は、編入生の今後の活躍次第と言つても過言ではない。大いに期待したい。

最後に一言。卒業はゴールではなく、これからがスタートである。今後10年をめどにキャリアアップできるよう意志を高く保ち続けて欲しい。

## 専攻科

平成22年3月1日現在

表1 平成21年度専攻科修了生就職先一覧

No.	就職先	地 域	人 数
1	旭化成	東京 関東	1
2	サントリーホールディングス	東京 関東	1
3	東京電力	東京 関東	1
4	フォーラムエンジニアリング	東京 関東	1
5	日本精工	東京 関東	1
6	メタウォータ	東京 関東	1
7	KDDI テクニカルエンジニアリング	千葉 関東	2
8	菱栄テクニカ	神奈川 関東	1
9	NTT データ MSE	神奈川 関東	1
10	富士通	神奈川 関東	1
11	日立情報通信エンジニアリング	神奈川 関東	1
12	日本アルゴリズム	神奈川 関東	1
13	阪神エレクトリック	兵庫 関西	1
14	野里電気工業	大阪 関西	1
15	エヌ・ティ・ティ・コムウェア九州	福岡 九州	1
16	九州旅客鉄道(JR九州)	福岡 九州	1
17	トヨタ自動車九州	福岡 九州	1
18	オムロンフィールドエンジニアリング九州	福岡 九州	1
19	ゼンリン	福岡 九州	1
20	JCN 熊本	熊本 九州	1
21	KIS	熊本 九州	1
22	RKK コンピューターサービス	熊本 九州	1
23	菊池電子	熊本 九州	1
24	国家公務員		1

合計 25名  
内女子(4名)

表2 平成21年度 専攻科修了生進学先一覧

1	進学先	地 域	人 数
2	東京大学大学院	東京 関東	1
3	奈良先端科学技術大学大学院	奈良 近畿	3
4	京都大学大学院	京都 近畿	1
5	九州大学大学院	福岡 九州	7
6	九州工業大学大学院	福岡 九州	1
7	熊本大学大学院	熊本 九州	2

合計 15名  
内女子(1名)

# 本科

平成22年3月1日現在

## ■平成21年度本科卒業生就職先一覧

企業等	学科名	情報通信工学科	電子工学科	電子制御工学科	情報工学科	合計
CRCシステムズ			1			1
NECネットエスアイ		1				1
NECネットエスアイエンジニアリング					1	1
エヌ・ティ・ティ・コムウェア九州		1				1
NTTネオメイト九州					1	1
TDCソフトウェアエンジニアリング					1	1
TOTO		1	1			2
ティー・エス・ジー		1			1	
アイシン精機			1		1	
エヌアイシー・ネットシステム				1	1	
エム・ディ・エス			1		1	
オムロンリーランドデバイス		1			1	
関西電力					1	1
キヤノン		2			2	
九州産交ホールディングス					1	1
九州旅客鉄道				1	1	
京セラコミュニケーションシステム		2			2	
サイバーコム・横浜事業所					1	1
サントリープロダクツ				1	1	
システムニシツウ					1	1
新電元熊本テクノリサーチ					1	1
西部電気工業		1			1	
総合設備コンサルタント・熊本営業所					1	1
ソフト九州					1	1
ソフネット					1	1
ダイキン工業		1			1	
太陽精機				1	1	
大和製罐			1		1	
中央電子工業			1		1	
中外製薬工業				1	1	
中部電力			1		1	
東海旅客鉄道				1	1	
東京電力					1	1
東芝エレベータ					1	1

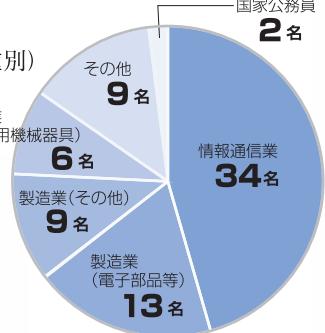
## ■平成21年度本科卒業生進学先一覧

企業等	学科名	情報通信工学科	電子工学科	電子制御工学科	情報工学科	合計
豊橋技術科学大学		1	2		2	5
山形大学					1	1
筑波大学			1	1	2	
東京工業大学		1	1			2
電気通信大学		1	1			2
大阪大学			1			1
大阪経済大学					1	1
山口大学			1			1
九州大学		1	1			2
九州工業大学				1	2	3
佐賀大学					1	1
長崎大学					1	1
熊本大学		2		1	3	
宮崎大学					1	1
熊本高専攻科		11	9	9	8	37
合計		15	17	12	19	63

企業等	学科名	情報通信工学科	電子工学科	電子制御工学科	情報工学科	合計
東芝プラントシステム					1	1
ニコン					1	1
西日本高速道路エンジニアリング九州					1	1
西日本高速道路ファシリティーズ					1	1
西日本旅客鉄道					1	1
日本オーチスエレベータ					1	1
日本空港テクノ					1	1
日本ソフトウェア技研					2	2
ネクストウェア					1	1
日立アプライアンス					1	1
日立メディコ					1	1
ヒューマンテクノシステム					1	1
富士通					1	1
富士通九州システムズ					1	1
富士通ビジネスシステム					1	1
富士電機システムズ					1	1
ペールートシステム					1	1
本田技研工業					1	1
三浦工業					1	1
三菱重工業 長崎造船所					1	1
三菱電機エンジニアリング					1	1
三菱電機システムサービス					1	1
森精機製作所					1	1
安川エンジニアリング					1	1
安川電機					1	1
ヤマハ発動機					1	1
吉野工業所					1	1
リコー					1	1
菱栄テクニカ					1	1
ワイエヌエス					1	1
渡辺機械製作所					1	1
国家公務員					1	1
合計		12	15	23	23	73

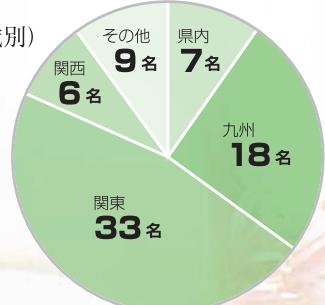
## ■平成21年度本科卒業生就職者数内訳(業種別)

業種	人数
情報通信業	34
製造業(電子部品等)	13
製造業(その他)	9
製造業(輸送用機械器具)	6
その他	9
国家公務員	2



## ■平成21年度本科卒業生就職者数内訳(地域別)

地域	人数
県内	7名
九州	18名
関東	33名
関西	6名
その他	9名



# 2009年度 進路速報

[八代キャンパス]

## 日々精進

進路支援室(副室長)

小林 幸人

本科卒業生および専攻科修了生のみなさん、ご卒業・修了おめでとうございます。これから、新たな環境で自分の将来を作り上げていくみなさんに、心からお祝いとエールを贈ります。

さて、今年度の進路状況を振り返ってみると、不況の影響を受け、昨年度と比べると求人件数は若干減少しました。しかし、社会の高専卒に対する評価は依然として高く、有効求人倍率・内定決定者数は前年と遜色ない結果となっています。進学に関しても、専攻科進学・大学編入学、大学院進学ともに、それぞれの希望を実現されています。

日本全体を見渡すと、依然として景気回復が課題であり、雇用環境は厳しい状況が続いている。各企業は、厳しい状況に対応するため、経営効率化、業界再編など、生き残りをかけた道を模索しています。そのため採用プロセスの早期化・短期化傾向が強まることが予想されます。在校生のみなさんは、自分の将来をしっかりと考へる必要があることを肝に銘じてください。

就職されるみなさんは、入社後の研鑽が重要であることを忘れないでください。企業に所属していることに満足せず、企業、社会に貢献できる人財となるべく、これからキャリアをさらに発展させていただきたいと願っています。

進学されるみなさんは、数年後の選択に向け、これまでの自分のキャリアを振り返り、将来の目標をはっきりと自覚し、何事にも積極的に取り組んでください。

今のみなさんを作り上げてきたのがこれまでのキャリアであるように、日々の積み重ねがみなさんの将来を作っていくのです。

卒業生・修了生のみなさんの、今後ますますのご活躍を祈念いたします。

## 専攻科

平成22年1月末現在

### ■平成21年度専攻科修了生就職・進学先一覧

就職・進学先	専攻名	生産情報工学科専攻(M系)	生産情報工学科専攻(E系)	環境建設工学科専攻	生物工学科専攻
(株)A&T					1
(株)大林組			1		
(財)化学乃血清療法研究所					1
(有)三大建設				1	
シャープ(株)		1			
(株)竹中工務店			1		
ダイハツ工業(株)		1			
DIC(株)				1	
デンソーテクノ(株)		1			
東京エレクトロン九州(株)		1			
東芝プラントシステム(株)		1			
(株)同仁化学研究所				1	
西日本プラント工業(株)				1	
(株)ニュージェック			1		
(株)日立プラントテクノロジー	1				
富士通(株)		1			
メタウォーター(株)		1			
森永乳業(株)					1
嘉島町役場				1	
筑波大学大学院		1			
九州大学大学院		1			
熊本大学大学院		1	1		
その他(各種学校進学等)	1	1			1
計		7	6	6	7

# 本科

平成 22 年 1 月末現在

## ■平成 21 年度本科卒業生就職・進学先一覧

就職・進学先	学科名					就職・進学先	学科名				
	機械 電気 工 学 科	情報 電子 工 学 科	土木 建築 工 学 科	生物 工 学 科	機械 電気 工 学 科		情報 電子 工 学 科	土木 建築 工 学 科	生物 工 学 科		
味の素株式会社			1		(株)東芝 社会システム社			1			
アステラスファーマケミカルズ(株)			1		東燃ゼネラル石油株式会社		1				
阿蘇製薬株式会社	1		1		東洋建設(株)				1		
(株)アルトナー		1			東洋製罐(株)			1		2	
出光興産(株)			1	1	東レ株式会社					1	
(株)NTT ファシリティーズ九州		1			(株)トヨタプロダクションエンジニアリング		1	1			
大阪ガス株式会社	1		1	1	西日本高速道路エンジニアリング九州(株)				1		
大塚製薬株式会社				1	西日本旅客鉄道株式会社		1				
花王株式会社	1			2	日本空港テクノ(株)			1			
株式会社カネカ				1	日本触媒株式会社					1	
関西電力(株)		1			日本たばこ産業(株)九州工場			1			
関西ペイント株式会社				1	不二製油株式会社					1	
菊川工業(株)			1		富士通(株)			1			
キャノン株式会社	1				(株)富士通九州システムズ			1			
九州電力株式会社	1	1	1		(株)富士通ビー・エス・シー			1			
九州旅客鉄道株式会社	1		1		富士電機システムズ(株)			1			
京セラ株式会社国分工場		1			フジブルーフ工専(株)				2		
協和発酵バイオ株式会社				1	(株)フランソワ					1	
極東石油工業(株)				1	株式会社前川製作所			1			
熊本製粉株式会社				1	前田道路(株)			1			
建装工業(株)			1		三井造船鉄鋼工事(株)					1	
コスモ石油株式会社				1	(株)三井三池製作所			1			
(株)五洋建設			3		三菱重工業株式会社 神戸造船所			1			
株式会社再春館製薬所				1	三菱重工業株式会社 技術本部 長崎研究所			1			
サントリープロダクト(株)				1	三菱電機ビルテクノサービス(株)			1			
サントリーホールディングス(株)			1		ムラテック C.C.S.(株)			1			
新電元熊本テクノリサーチ(株)		1			明治乳業(株)			1		1	
(株)新日本製鐵			2		メタウォーター(株)			1			
新日本石油精製株式会社	1				安川エンジニアリング(株)			1			
株式会社末松電子製作所		1			安川情報システム(株)			1			
住友化学株式会社	1				雪印乳業株式会社					1	
第一三共プロファーマ株式会社				1							
ダイキン工業株式会社	1				熊本高専専攻科			12	9	5	
武田薬品工業株式会社				2	長岡技術科学大学			1			
チッソ(株)水俣本部			1								
中外製薬工業株式会社				2	東京工業大学					1	
中部国際空港サービス(株)			1		佐賀大学					1	
中部電力株式会社	1	1			熊本大学			1	2	2	
デンソーテクノ(株)		1			鹿児島大学					2	
東海旅客鉄道株式会社		1	2								
東京エレクトロン九州(株)		1			その他(各種学校進学等)			1	3	3	
東京電力株式会社	1	1		1							
東京理化工業所株式会社	1				計			37	39	33	
										39	

# 退職教職員からの メッセージ 退職にあたって



## 教職 38 年間の思い出

制御情報システム工学科

教授 田畠 亨

佐世保高専に 19 年、本校に 19 年の 38 年間、高専教員と一緒に勤務し、ここに定年退職を迎える。前任校では、教職が自分の天職だと信じ、すべてを学生教育に優先させて過ごしたものだった。当時は珍しかったが 1979 年 8 月から 1 年間、米国カリフォルニア大学に文部省在外研究員として留学し、貴重な経験をさせて頂いた。

本校に転属して、しばらくは研究活動に没頭した。専攻科設置に間に合うべく、平成 11 年度末に晴れて工学博士の学位を取得することができた。上野元校長先生には、研究面で多大なご支援とご指導を頂いた。本当に感謝に耐えない。

電波高専着任 10 年目に、電子制御工学科の学科長に任命された。学科構成教員の活発で自由な雰囲気を尊重しながら、厳しいながらも愛情のある、より濃密な学科学生教育の実現を目指し、学科独自の新しい風土を育むことができたと思う。

学科外では寡黙で目立たなかった私だったが、その後なぜか、学生主事、教務主事、図書館長と取り立てて頂き、学校運営に専念して多くの貴重な経験をさせて頂いた。その間、JABEE が本格導入され、教授法も体系化されて教育手法の改善も図ることができた。

最近は、素直で優しい学科学生に接することに喜びを感じ、教員冥利に尽きる毎日を過ごしている。研究、校務、教育のすべてで恵まれた 38 年間を過ごさせて頂き、大いなる達成感を味わわせて頂いた。熊本高専の教職員の皆さん、学生諸君すべてに、心より感謝を申し上げたい。



## 思い出と感謝

情報通信エレクトロニクス工学科

教授 紫垣 一貞

月日の経つのは早いもので、あっという間に定年まで来たような気がしています。「光陰矢の如し」とよくいますが、まさにその通りだと実感しています。

私は、民間の企業に 3 年間、その後熊本電波高専に昭和 48 年 4 月に奉職し、いつの間にか、37 年の月日が経つてしまいました。当時の本校周辺はクヌギ林に覆われ、現在の制御棟の裏は特に多く繁り、もちろん西合志団地の住宅もなく雑木林のような光景でした。

そんな環境の中で授業し、最初は基礎実験・電子製図、その後、基礎電気・電気計測・電子材料・電子計測 I・電子計測 II などと広く教えるようになりました。

そして、クラブ顧問としては卓球部を約 25 年間指導し、その間最も成績が良かったのは、九州地区体育大会で団体戦 3 位・個人戦 2 位の入賞が一番良い成績でした。そして、全国大会にも 2 回出場することが出来、大変感謝しています。

また、平成 3 年から平成 8 年までの 6 年間学生主事補として、在任していた時には、学生会の全国大会及び九州地区大会を本校で開催したことや、N H K の高専ロボットコンテスト九州地区大会を、本校の第一体育館で開催したこと、あるいは学校行事で歩こう会として菊池水源から阿蘇の大観望まで、往復数十キロメートルを学生と一緒に歩いたことなど、色々な事が思い出として残っています。

いま、本校は平成 21 年 10 月 1 日から学校名が熊本高専(熊本キャンパス)になり、平成 22 年 4 月 1 日より 1 期生の新 1 年生が入学してきます。その大変な時期に退職して行くのは、心苦しくもあり、また一抹の寂しい思いもします。

長い間教員生活を続けることが出来たのも、また無事退職が出来るのも、多くの方々の支えがあったからこそだと思います。最後に、在職中大変お世話になりました教職員の皆様方・保護者の方々・卒業生・学生諸君・恩師・そして友人皆様方・関係各位のお陰で無事教員生活を全うする事が出来ました。深く感謝し、御礼申し上げますとともに、熊本高専が益々発展していくことを願っています。



## 思い出すこと

共通教育科  
教授 本田 効二郎

退職にあたって、一番に思い出すのは金沢大学の素粒子研究室にいた頃だ。研究室のゼミの部屋にはいつも堀先生と山田先生がいた。堀先生はソファーに座って何か計算をしていた。質問に行くと、前の黒板の端から書き始めて反対側の端につく頃に答えが出ていた。山田先生は「ええ、それは」としゃべり始めると、話しながら答えを出していた。堀先生は湯川研究室出身、山田先生は坂田研究室出身で坂田先生の直属の助手を経験していた。世の中にこんなに出来る人がいるのかと思ったものだ。研究室の雰囲気は非常に自由で開かれていた。

その後、北大に行った。金沢大学の堀先生と山田先生の存在があったから北大に行けたのだと今でも信じている。北大では大学院生の友人に恵まれた。素粒子研究室以外にも宇宙物理研究室、原子核理論研究室、磁気や極低温の実験の研究室などの大学院生との交流や議論もあった。金沢大学では得難い経験だった。私のように頭の悪い人間が曲がりなりにも学位が取れたのは、彼らから学ぶものが多かったお陰だと思っている。

学位を取った後、職がなく、一時札幌などの予備校で働いた後、平成三年四月、電波高専に職を得た。当初、研究をする気持ちだったが、細々と素粒子などやっても意味がないと判断し、学生たちと遊ぶことに決めた。そして十九年が過ぎた。電波高専の学生たちは優秀で、学生に失望することは一度もなかった。楽しい十九年間だったと感謝している。定年を間近にして教えてきた学生に何か残しておきたいと考えていた。学生との胸襟を開いた交流の中から「片翼鳥」が生まれた。Iは十数年前に学生の卒業記念に作った。所が、昨年Ⅱ、Ⅲ、Ⅳと矢継ぎ早に本が出来た。私にとって望外のことだった。文章は私が書いたものだが、学生たちからの私への最後の贈り物だと思っている。私も大事にするが、学生たちもきっと大事にしてくれると思っている。十九年間、本当にお世話になりました。



## 祈飛翔熊本高専

共通教育科  
教授 北辻 安次

思い起こせば昭和 50 年 4 月に、新築の校舎(現在の共通教育棟など)と校内道路のほかはごろごろ石のままの八代高専に着任してから早いものでもう 35 年になりました。

私は物理の授業の中で、できるだけ学生を相手に教室で実験や、いろいろな面白い物理的な原理を利用したおもちゃなどを見せていました。一方で地域の小学生や中学生から見て、科学や理科を楽しく学ぶ施設や機会が八代ではほとんどないことを痛切に感じていました。そこで平成 5 年度から、毎月の第二土曜日の学校休日を利用して小中学生向けの公開講座「理工学実験教室」を計画しました。

6 月から翌年の 1 月まで毎月 1 回のペースで、その年のテーマにしたがつていろいろな工作や実験を工夫して実施しました。この理工学実験教室は平成 16 年まで 12 年間にわたり、6 種類のテーマで延べ 84 回実施したことになります。このときのテキストをまとめたものを八代高専の 30 周年記念事業の一環として、「理工学実験授業テキスト」全 6 冊にして印刷、発行していただきました。精々ご活用いただけたら幸です。

この講座が定着し始めたころに、寮務主事を拝命しました。その後新しく地域連携センター長として、センターの立ち上げと、業務の拡充・発展に携わらせていただきました。地域の小中学校との連携理科授業の組織的な実施、土曜休日の「わいわい工作・わくわく実験ひろば」の開催、八代版の科学館として手作りの科学展示物「ミニミニ科学館」の立ち上げなどの仕事を通じて、多くの教職員の方々や学生諸君にご協力いただいたことをこの場をお借りして心より感謝いたします。

このたび、私は一応本校を離れることになりますが、新生「熊本高専」のさらなる飛翔を心から祈っております。



## 他人探しの旅へ

生物化学システム工学科  
准教授 松浦 蠟介

まだ定年までには少し時間があるけれど、辞めることにしたのは、ちょうど 20 年の区切りもあるし、老年になる前にゆっくりとした時間を楽しみたいと思ったからです。

数年前までは担任をしていたとき、個人面談で「私は、先生のファンです」とか「うちの子が面白い先生だから、ぜひ面談に行って来なさいと言うものだから、いつもは来ないのですけれど」と言ってくれる保護者が何人かいましたが、今は、教室へ授業に行っても、学生は「あれ何しに来たの?」と言いたげな顔をしています。もちろん歳をとったことは、このようなマイナスの面ばかりではないですけれど。

卒業されるみなさんに一言。最近、何かスポーツの試合を見ての感想を求められると、「感動しました」とか「元気をもらいました」というような言葉をよく聞くと思いませんか。いつも主語は私であり、誰もが「自分にしか関心がない」ということの表れではないかと思います。むしろ「選手があの状況で逆転したのは立派だった」など、その選手をどう考えるかを答えるべきではないでしょうか。「自分に合った仕事を」とか「自分らしさ」とか「自分探し」とかいろいろな言葉で、多くの人が、自分のことを過剰に意識して、自家中毒を起こしているように思います。そのために、自分に、自分の仕事に、自分の生活になかなか満足できないでいるのです。世間の「オンリーワン」「勝ち組」などという、過大な成功を目指す言葉に翻弄されてはいけません。

内なる自分に固執するよりも、もっと外界に、他人のことや世の中のことに関心をもてば、自分探しの旅から解放されるのではないかと思います。そのためには、例えば、本を読んで自分ではない他人の生き方や言葉を知ること、旅に出て知らない人や世界に会うことです。そうすれば、平凡でささやかだけれど、そこそこの人生の幸せはやってくると思います。



## 誰かがどこかで必ずみてる

事務部  
事務部長 山代 文雄

昭和 43 年熊大採用、その後文化庁、大分医大、徳島大、東京国立文化財研究所、九大、九州芸工大、長崎大、熊本電波、最後に八代高専と高度化再編した「国立熊本高専」と、10 の教育機関にお世話になりました。たくさん的人に支えられての 42 年間、本当にありがとうございました。

文化庁時代は文化財保護法の大改正、東文研時代は上野公園内での研究所新設で建設省、東京都との折衝、芸工大と九大との統合、そして「国立熊本高専」の高度化再編という貴重な大変な仕事に関わる事ができものがすごく幸せに思います。

いろいろありましたが振り返ってみると次の 3 つの事が自分の場合には心の支えになったのかなと思います。ひとつめは、高校の 3 年間卓球を続けられたこと(まわりは皆上手なのでついていくためにひたすら練習の繰り返し...)、親にも感謝) ふたつめは、熊大恒例の 60 キロ競歩を完歩したこと(皆もやっている事だけど...)、しかも 11 時間 38 分と速い人の倍近く時間がかかったけど自分はすごいと思っている) みつめは、熊大の上司のひとこと 誰かがどこかで必ずみてる いつか報われるあせらず くさらず 頑張りなさい

なんで自分ばかりと考え違いをしていた頃もありましたがすこしずつ前向きに考えることができるようになつたのかなと思います。

勉強も仕事も人生もこつこつと 思いつつ最近は温泉でボケーッとするのが樂しみです。

本当にお世話になりました。

退職にあたって

退職にあたって

学務課寮務係主任

山田 雅子

八代高専の創設間もない昭和 50 年 4 月半ばに採用され、これまで 34 年の間、皆さまのお陰で務めを終えることができますことを心からお礼申し上げます。

私が勤め始めた頃の八代高専は、建物も未完成で、工事用資材を積んだ大型トラックが構内を行き交っていました。

学年進行に伴って学生数や職員数が毎年増え、次々に施設が充実していった当時が懐かしく思い出されます。事務機器も和文タイプからワープロ、パソコンへと変遷し、使いこなせなくて周りの方々に助けられました。これも巡り会った先輩、同僚、後輩の皆さまのお陰だと感謝しています。

私は主に庶務・会計で仕事をしてきましたが、平成 16 年 4 月からの図書館勤務や寮務係は学生と身近に接するポジションで、毎日楽しく元気に仕事が出来たことは何より幸せでした。

今後は、多くの教職員の方や学生達と出会えたことを大切にして、第二の人生を歩んで行きたいと思っています。

皆さまのご健康とご多幸をお祈りいたします。

教職員の皆様 長い間お疲れさまでした。

この他に情報通信エレクトロニクス工学科の小茂田治准教授が平成 22 年 3 月 31 日付で定年退職されます。



# 委員会より

新高専の立上りを終えて

熊本キャンパス



## “変える”勇気

教務主事

下塩 義文

建物を覆っていた足場が解かれ、改修された新しい校舎が顔をのぞかせました。新高専のスクールカラーである青を基調とした近代的なイメージの校舎です。今までの色と変えるのには勇気が必要だったと思いますが、やはり“変わる”ためには、“変える”という一歩を踏み出す気持ちが必要だと思います。踏み出してこそ、新しいものが生まれます。

社会人となって、また進学・進級して、4月から新しい環境に入る皆さんには、“変える”力を発揮して欲しいと思います。自ら、何か行動しないと何も変わりません。相手に何かを求めるのではなく、自らが相手に対して何ができるかを考えて動くことが必要だと思います。自分が動き、そしてその結果を確かめ、自らの行動を反省し、より深く考えて動くことで、自らも成長できるはずです。皆さんの活躍を期待しています。



## 世界の空へ

学生主事

古江 研也

熊本は、難治の国と言われてきました。幕末は、勤王党・時習館党・実学党の鼎立で藩論が分裂し、54万石の雄藩は先導的役割を担えませんでした。明治には、民権派・國権派が相剋、変革を推進した人物は輩出したものの、熊本としてのエネルギーには乏しいものがありました。「肥後の引き倒し」と揶揄され、同郷人同士が引き立て合う「薩摩の芋づる」との違いを痛切に感じさせる時代が長く続きました。

そのような“もっこす”の地にあって、この度熊本高専が新しく発足しました。中央省庁、市町村の再編の中、スーパー高専としての飛翔ということになります。偏狭な価値観にとらわれない、世界を相手にできる技術者を養成するため、学生委員会としても両キャンパスで力を合わせて参ります。



## 明和寮便り

寮務主事補

生活指導担当 松尾 和典

まず、平成21年11月以降の明和寮の主な行事についてご紹介します。

12月17日に夜間消防避難訓練が泉ヶ丘消防署に協力していただき実施いたしました。同夜には食堂にて恒例のクリスマス御馳走会とbingo大会が催され大盛況でした。また、今年もスポーツイベント・ドッヂボールが1月14日と18日に第2体育館にて行われました。

さて、学校が新たなスタートを切った今年度は明和寮にとっても変革の年度となりました。最も大きな変革は寮長選挙が行われたことだと思います。男子4名が男子寮長選、女子1名が女子寮長選に立候補しました。投票日には寮生のほぼ全員が投票し、新男子寮長としてC4岡本君、新女子寮長としてT4井川さんが選出されました。新寮生会は公約を基に新たな試みを実行してくれています。例えば、目安箱の設置やスポーツイベントの学年対抗戦、寮内新聞などです。低学年の勉強会にも、寮役員や上級生がボランティアで参加し、質問に答えたりしています。自分たちの寮を自分たちの手でより良くする流れができ始めています。本年度のテーマである「自律と共生」が徐々に完成してきているようです。



## 地域連携の推進

～地域イノベーションセンターの誕生～

総務主事

大塚 弘文

本校には、地域連携の核となり産業振興や人材育成の拠点校となるために、新たに、地域イノベーションセンター、PBL・総合教育センター、およびICT活用学習支援センターの3つのセンターが設置されました。今回は、地域共同テクノセンターから衣替えした「地域イノベーションセンター」について紹介したいと思います。

このセンターには地域イノベーションの推進を担当する「地域創発事業部」、共同研究プロジェクト等の研究・技術開発連携の推進を担当する「研究開発推進事業部」、社会人講座等の地域における人材育成活動の推進を担当する「人材育成事業部」、そして知的財産活動活性化等の推進を行う「知的財産拠点化事業部」の4事業部があります。本科での卒業研究や専攻科の特別研究での活動の中で生み出されるアイデアが特許や実用新案などの知的財産の創出や製品化へと着実に繋がっていく・・・そのための環境が整えられたと捉えて下さい。学生の皆さんの活躍が九州地区のイノベーション推進の原動力となるのです。



### 新高専実動へ

教務主事

渕田 邦彦

平成 22 年 4 月からいよいよ新高専に新入生を迎えて新学科がスタートします。昨年 10 月の新高専立上り後、教務関係では、実動に向けて様々な準備を行ってきました。主なものは、入学試験実施に関すること、教務関係の規則整備に関すること、成績処理や各種証明書発行などの教務システム及び各種諸手続き(願い・届出など)様式に関すること、シラバス・学生便覧の準備などで、熊本キャンパスと調整しながら諸準備を整えています。新年度からしばらくは各キャンパスで新旧 7 学科が混在することになりますので、これまでと異なる面も見られるかもしれません、学生のみなさんにはこれまでと同様、各自の勉学へのしっかりした取組を期待しています。



### 今後の学生支援について

学生主事

宮本 弘之

新高専の立ち上げを終え、学生支援全般では新高専の基準をもちつつも、キャンパス毎に裁量ある体制が執られ、これまで問題なく経緯しました。以下、引き続き検討すべき事項について述べます。

まず、平成 24 年度制定予定の新制服の件ですが、両キャンパス共同でデザインや色彩等につき充分に検討・協議されます。

次に課外活動の件です。競技参加枠は従来通りですが、学科数減(学生数や活動予算が従来比 25% 減)に伴い、全てが従来通りには無理があります。八代キャンパスの学生数に対するクラブ数の設置率は現状でも他校より高いこともあり、今後はクラブ数や各種コンテストへの参加のあり方等について学生会とも協議しながら真剣に検討するべき時が迫っています。

最後になりますが、これからも各種の改善整備が継続されますが、学生諸君ならびに保護者の皆様にも、ご協力と、ご理解をお願いします。



### 近況報告

寮務主事

池田 直光

新高専の発足に向けて旧電波高専と協議し、昨年 10 月より寮は新しい寮務規則で運営されています。しかしながら、実際の運営はキャンパス毎に細則を定めて行われており、寮生はこれまでどおりの落ち着いた寮生活を送っているようです。

また、施設面では新高専の発足にあわせたかのように、この 2 年間で大幅に改善されました。設立以来 30 年の男子寮は、居室全部の壁紙と床の張替えが完了し、室内の机やベッド等も更新されています。さらに、すべてのトイレが改修され、食堂にはエアコンが設置されました。寮務主事は 4 月で交代予定ですが、このきれいな環境をこのまで後輩に引き継いでいって欲しいと切に願っています。



### HP・紀要・高専だより

総務主事

開 豊

10 月からの新高専スタートに歩調を合わせ、熊本キャンパスと連携しながら、熊本高専ホームページ開設、統合版研究紀要発刊、熊本高専だより創刊号の発行、そして企業向けパンフの作成・発送と、慌しく半年を過ごしてきました。このあとも、本号の発行や研究シーズ集の取りまとめなどが待っています。

これらの広報活動は、学校外の人たちに新高専の発足を広くアピールするためのものではありますが、同時に両キャンパスの学生諸君そして保護者の方々にお互いを知つてもらえる場にもなると思っています。

50km 以上離れた両キャンパスですが、第 1 回の卒業式、そして第 1 期新入生を迎えて、さらに一段と、交流と一体感の醸成が進んでいくものと期待しています。

# 学生会・寮生会報告



これからの学生会で

熊本キャンパス 学生会  
学生会長 長田 大和

私が学生会長となつてもう 2 ヶ月が終了しました。この 2 ヶ月規約改正や部長会議など、様々な会長の仕事でバタバタとした毎日でした。内則作りなどその他やる仕事はまだありますが、学生会役員と共にがんばつていこうと思います。

さて、今までの学生会報告ですが、今年の 2 月にバレンタインデーにちなんで、学生会で学生にチョコレートを配りました。もちろん、配ったのは熊本キャンパスの女子で、男子学生が多いということもあり、とても喜ばれる企画になりました。テスト中で学生会役員のみんなには迷惑をかけてしましましたが、成功して本当に嬉しかつたです。

もうすぐ熊本キャンパスでは、クラスマッチと卒業式が行われます。特に卒業式では、お世話になった先輩が数多くいるので、そんな先輩を絶対感動させるような卒業式にしていきたいです。大きな仕事が続き、大変ですが学生により楽しんでもらえるよう学生会で頑張つていこうと思います。

これからの 1 年間、このようにして学校を盛り上げていけたらと考えています。特に今年の学生会では、常に新しいことに挑戦して様々なことをやっていきます。会長選挙時、私は学生同士のつながりを強くすると公約しました。その公約実現のため、また、学校を盛り上げていくためにも学生会で行う行事には特に力を入れていきたいです。

昨年の 10 月から電波と八代は合わさり、1 つの学校“熊本高専”へと生まれ変わったので、八代との共同イベントなんていうのもいいかもしません。八代キャンパスの学生会と力を合わせ、熊本高専をより盛り上げていくので、皆さんも力を貸してください !!



感謝の気持ちを込めて…

八代キャンパス 学生会  
学生会長 池田 竜

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。

私が卒業生の先輩方と出会って早くも 4 年が経とうとしています。思い返してみるとこの 4 年間、先輩方のおかげで本当に楽しい日々を送ることができました。一年生の頃、何も知らない私たちを手取り足取りお世話してくださった先輩方がいなくなると思うと少し寂しい気もしますが、これからまた新しい一步を踏み出す先輩方を見るととても頼もしくも思えます。私から見る卒業生のさんはいつも大人びていて、たくさんのこと学ばせてくれました。寮生活のこと、学校生活のこと、勉強のこと、部活のこと、遊びのこと、どれをとってもためになることばかりで本当に心強い存在でした。学生会長という役職に就くことが出来たのも、それを今、無事終えることが出来るのも先輩方が温かく見守ってくれたおかげだと思います。本当にありがとうございました！

いつも甘えてばかりいたので、先輩方がいなくなるのは正直不安ですが、先輩方がこれまで築き上げててくれたように今度は私たちが熊本高専八代キャンパスの 5 年生として後輩たちの見本になるような人間になり、先輩方が卒業するこの八代キャンパスをいつまでも良い学校と言われるよう頑張ります。先輩方もこの良い学校の良い卒業生として胸を張り自信をもって、これから待ち受けるであろう困難や壁を乗り越えていってください。在校生一同これから卒業生の活躍を期待しています。

最後になりましたが、この 4 年間本当にお世話になりました。これからも多々お世話になることがあるかもしれません。その時はまたご指導のほうよろしくお願ひします。



## 熊本キャンパス体育局報告

熊本キャンパス

体育局長3年 坂井 潤

熊本キャンパスでは校舎改修にともない片方の体育館が使用できない状況の中、室内練習のある各部が協力し合い、時間を割り振って日々の練習に励んでいます。冬の厳しい寒さの中でも放課後は毎日練習の音・掛け声が絶えず響いていました。最近行われた主な大会の結果としては、

バスケ部：1/9～1/10 新人戦  
　　一回戦 55-49 (対 熊農)  
　　二回戦 47-88(対 国府)  
サッカーチーム：1/9～1/10 一年生大会  
　　一回戦 0-5(対 国府)  
弓道部：1/30～1/31 選抜弓道大会  
　　男子 A B 一回戦落ち  
　　女子 A 二回戦落ち

などの報告を受けています。四月には校舎改修も終る予定なので各部それぞれ新部長による体制を整え、新一年生を迎える 2010 年度からのさらなる精進・発展に期待しています。



## 駅伝チーム活動報告

八代キャンパス 駅伝チーム  
谷 亮輔

私達、駅伝チームは年間を通してコツコツと練習を重ね少しずつではありますが力を伸ばしてきました。夏の高専大会（陸上）でも九州・全国問わず入賞者を輩出始めています。昨年、11月に行われた熊本県高校駅伝では、15位という好成績を残し、12月に開催された西日本地区高専駅伝では3位入賞（躍進賞）を果たしました。これも周りの多く方々のサポートとご声援あってのもので感謝しております。また、夏休みや春休みと言った長期休暇中もできるだけ集まり、練習を中断せずに継続して、常に走り続けてきた成果だと思います。練習は走ることだけでなく学力も培ってくれます。粘る力と集中力です。「継続は力なり」をモットーに競技も勉強も両立し、学生の模範となるよう頑張ります。そして今年は八代に優勝を引き寄せます。



## 新体制になって

熊本キャンパス 寮生会  
寮長 岡本 稔文

私は、明和寮で初めて行われた寮長選挙に当選した、寮長の制御 4 年岡本です。選挙には私の他に 3 名が立候補しており、その 3 名を幹部において新寮生会を組織しました。

新寮生会の年間を通した活動方針は、寮生全員が心から「寮生で良かった」と思える、魅力的な寮作りです。今年度中はそのための基盤作りに取り組んでいるところです。具体的な取り組みとしては、「イベントの整備」、「仕事内容・生活指導法の見直し」、そして「学習面での支援」に力を入れています。

行事面では、クリスマスビンゴ大会や寮内スポーツイベントなどを、誰もが楽しめるようなイベントをめざして企画・運営しています。学習面でも、1 年生を対象に 1 日あたり 1 時間の勉強会を実施しています。

今後は途中入寮生・新一年生の受け入れにも力を入れていきたいと思っています。学生ならびに保護者の皆さんのご協力をよろしくお願いします。



## 八龍寮のおもいで

八代キャンパス 寮生会  
寮長 瀧本 慎太郎

早いもので卒業まであとわずかとなり、この寮で暮らす時間も残り少なくなりました。

改めて寮生活を振り返るとやはり寮長を一年間やったことが一番心に残っています。寮長としての責任の重さや、他寮生に対する指導などはされる側よりもする側の方がきついということなど様々なことを勉強させてもらいました。

現在、高専での最後のテストである学年末試験の真っ最中ですが、無事に卒業出来れば春からは社会人として頑張っていくことになります。この寮での様々な経験を生かし、社会に出ても恥ずかしくない大人になれるよう精進していきたいです。

最後に、池田寮務主事始め、今まで支えてくださった寮務の先生方、事務室の方々、一緒に寮生会を運営してきた役員のみんな、そしてこの寮で出会った、たくさんの友達に心から感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

# キャンパス近況

最近の開催行事等から

## 熊本高専発ワークショップ

地域イノベーションセンター

独立行政法人国立高等専門学校機構と熊本高等専門学校の両主催により、平成 21 年 12 月 15 日(火)、「イノベーションをリードする～「強い特許」の創出と活用を目指して～」と題したワークショップをマルパルク熊本で開催しました。本ワークショップのメインテーマは、「強い特許」「骨太の特許」の創出と活用とし、八代高専と熊本電波高専が平成 21 年 10 月 1 日付けで高度化再編し、熊本高専として誕生したこと、また、本校と JST イノベーションプラザ福岡との相互活用を目指した覚書締結とを記念して開催する新しい取り組みです。

主催者である宮川校長の挨拶で始まり、次に、文部科学省研究振興局研究環境・産業連携課技術移転推進室の岩田行剛専門官から「イノベーション創出のための产学研連携施策について」のご講演がありました。国立高等専門学校機構からは近藤孝彦学官連携コーディネーター、株式会社アイデアから桑原正浩コンサルティングセンター長、JST イノベーション推進本部から 2 名、JST イノベーションプラザ福岡及び JST イノベーションサテライト宮崎を代表して 1 名の方からご講演をいただき、計 6 講演で第 1 部が行われました。

引き続き行われた第 2 部のパネルディスカッションでは、本校小山善文地域イノベーションセンター長がモデレータとして、九州・沖縄地区センター長 4 名のパネラー及び JST イノベーション推進本部の菊地博道調査役の助言も得て、地域におけるイノベーションの現状と今後の取り組みについて活発な討論を行いました。また、九州・沖縄地区全高専の研究事例紹介等ポスターがロビーや交流会場に設けられ、地元企業や各高専の方など総勢 135 名の参加者で賑わい、大変有意義なワークショップとなりました。



地域イノベーションセンター

## 第 1 回 地域イノベーションセンターシンポジウム

熊本高等専門学校地域イノベーションセンターでは、地域社会との連携をより一層深めていくために、第 1 回国立熊本高専地域イノベーションセンターシンポジウム『地域に根ざした環境共生社会を考える～熊本高専とホンダソルテックの環境共生社会に向けた取り組み～』を平成 22 年 1 月 22 日(金)KKR ホテル熊本で開催しました。

2009 年 9 月に開催された国連気候変動サミットの開会式において、鳩山由紀夫首相は、温室効果ガス削減の中期目標について 1990 年比で 2020 年までに 25% 削減を目指すと表明しました。地球環境問題は世界共通の緊急の課題になっています。熊本県は早くから水や緑をはじめとする豊かな自然と共生した環境づくり、資源の有限性を認識した循環型の社会づくりに取り組んでおり、本校においてもさまざまな取り組みがなされています。そこで、熊本キャンパスの松田豊穣教授が「光計測による環境監視について」、八代キャンパスの上久保祐志准教授が「八代市における民・官・学が連携した環境活動体制の構築」を講演いたしました。また、(株)ホンダソルテックの数佐明男社長からは「Honda が目指す太陽電池事業」について基調講演をしていただきました。地域の方々や産業界からも多数ご参加いただき総勢 84 名の参加者がありました。熱のこもった意見交換が行われ、記念すべき第 1 回シンポジウムは成功裏に終了しました。



## 現代 GP「地域温泉街再生と共同したエンジニア教育」を終えて

この取組は日奈久温泉街を「地域という教室」として捉え、「文化や歴史、地域社会の枠組み」などを多面的に学ばせながら、「温泉街再生企画」と学生たちの「体験的な教育プログラム」を連動させ、新しい「社会デザインエンジニア」の育成につなげようという試みである。

その一例を紹介したい。「九月は日奈久で山頭火」はまさに「温泉街再生」のために地域の方々が始められたイベントで、専攻科1年「環境施設設計演習」で毎年参画させていただいている。その中の企画を担当するのだが、学生自身で企画立案から全プロセスを決め実行、実行委員会にも出席する。実行委員会の中に高専担当の方がおられ、協働で作業を進めていく。平成20年度は「まるい灯籠づくり」。かつて当該温泉が賑わっていた頃、天草の島々を望む日奈久港周辺は多くの浴衣姿の宿泊客が夜の散歩を楽しんだという。

そこで再び夜の散歩道を再現するため、その仕掛けとして和紙で造る「まるい灯籠」を考案、子供からお年寄りまで、本校の宮川校長も参加し、多くの方々に造っていただきたい。約250個のまるい灯籠が完成し港周辺に並べて点灯、宿泊客や地元の方々で賑わった。

まちづくりの面では、住民の方の「高専の取組で、多くの誇るべき宝があることに気づかせてもらった」という一言が印象に残る。前述の日奈久港周辺、木造3階建や2階建の歴史的温泉旅館建築、旧薩摩街道の町並み、路地裏界隈等など。これらの地域の宝をボランティアガイドの方が嬉々として案内をされる。また、まちづくりだけではなく安全な通学路(5年土木設計)という防災の視点から日奈久小学校との連携も始まった。

この取組は多くの方々のご協力の下に実行できた。その住民の方々が中心となって「新まちづくり協議会」が立ち上がり、地域でまちづくりを考える兆しがみえてきた。八代市では先進的な取組という。

感謝の意は尽くせないが、GP終了後も「地域を教室」とする連携は続けさせていただきたい。



## 現代 GPの3年間を振り返って

情報電子工学科は平成19年度から3年間、現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)の支援のもと、「中学生プログラミングコンテストによる実践的技術者への育成—高度なIT関連技術者を目指す学生のコミュニケーション能力開発—」をテーマとする教育プロジェクトを運営してきた。

プロジェクトの柱の一つとして、情報電子工学科1年生から3年生を対象とした専門基礎セミナーを開講し、受講学生はロボットの作製とその制御、3Dコンピュータグラフィックスの作成およびマルティメディアを用いた映像編集などを学び、プロコン開催前に設けたサマーセミナーへ参加する中学生の技術指導に必要な能力を養成した。二つ目は4部門(ゲームプログラム作成、ロボット制御、コンピュータグラフィックス、ホームページ作成)からなるサマーセミナーを平成20年度から開催し、2年間で154名の参加者があった。この中で本校学生は講師あるいはチーフアドバイザー役を務め、専門基礎セミナーで培った技術指導力を実践した。三つ目はサマーセミナーと同じ4部門からなる熊本県中学校プロコンを開催し、3年間で105名の参加者があった。本校学生はコンテストの企画と運営を通して直面する諸問題を克服する中、チームワーク力、問題解決能力、コミュニケーション能力などの開発に努めた。四つ目は「IT技術者教育におけるコミュニケーション能力の育成」に関するシンポジウムを開催し、本プロジェクトの取り組みに対する貴重な提言と示唆を受けた。

本プロジェクトに関わった学生の自己評価や教員による評価は、プロジェクトが学生のコミュニケーション能力の向上に大いに繋がったことを示し、本校学生ばかりでなく地域社会のIT教育に大きな波及効果があることが実証された。本プロジェクトは各種の学校レベルに拡大可能であり、IT社会の人材育成に寄与できるものと考える。右はサマーセミナーの様子である。



## 図書館より

熊本キャンパス図書館長 三好 正純

昨年10月、高専の高度化再編により電波高専と八代高専とが一つになって新しく熊本高等専門学校(熊本高専)が発足しました。熊本高専には2つのキャンパスがあるため、本図書館の名称を「熊本キャンパス図書館」と呼ぶことになりました。また、熊本高専には新たに3つのセンターが設置され、その一つに「ICT活用学習支援センター」があります。ICT(情報通信技術)を活用し本校の学生はもちろん、一般市民まで広く学習を支援することを目的としています。図書館では書籍のほか、ビデオ・DVDなどの電子媒体も扱い、論文など学術情報の電子化への対応、学内外の蔵書検索など、ICTは欠かせません。そこで、本図書館も当センターの中に組織されています。

さて、近年の情報化の流れで読書の形態も多様化しています。書籍も電子化が進み、読みたい書籍をインターネット上の書店からダウンロードし、パソコンなど電子端末で聞く「電子書籍」も増えてきています。電子書籍は、中身(書かれている内容)に興味がある人や知識として情報がほしい人などには手軽でしょう。しかし、電子書籍は印刷しても本とは異なります。本の感触やハードカバーの重みやデザインを楽しむ人たちは、本の書籍を手にするでしょう。また、ポケットやバックに忍ばせて、ちょっとした時間に気軽に楽しみたい人には文庫本が好まれるでしょう。情報収集、鑑賞、軽快感など、読書の目的にあわせた書籍の選択肢が広がっています。

ところで、読書の魅力の一つに想像する楽しみがあります。本にしても電子書籍にしても、活字メディアは一般に漫画や映像に比べて情報量が多くありません。そのぶん、読者は文章の描写からイメージを膨らませることができます。その場の光景、音や空気、登場人物の身なり・顔立ちなど様々なイメージが膨らみます。読書で大いに想像の楽しみを味わっていただけたらと思います。図書館ではこれからICTを活用したさまざまな情報サービスを行っていく予定です。どうぞよろしくお願い致します。



## 保健室より

看護師 中西 博子

卒業おめでとうございます。

新たな環境での生活のスタートは、誰もが緊張や不安の連続です。こんな時期にストレスを乗り越え健康で快適に過ごすには、睡眠をしっかりとることが重要になってきます。そこで身近な生活の中でぐっすり眠る快適な睡眠をする方法についてお伝えしたいと思います。たくさん方法がありますが、の中でも主な内容についてお伝えします。

○睡眠リズムを正すには、朝日を浴びるのが効果的です。メラトニンが分泌され眠れる。(睡眠効果のあるホルモンのこと)

○眠れないことを楽しむくらいの発想の転換をする。寝ようとしたときに交感神経が緊張するので、余計の疲れなくなる。ゆっくり構えていた方が、副交感神経が優位となり寝つきやすい。

○就寝時間にこだわらない、眠くなつてから寝床に入る習慣をつける。眠気は意思ではなく体内時計によって決まります。

○休日も平日と同じくらいの時間に起きる。体内時計を合わせる効果があります。

○栄養のバランスのとれた食事をする。トリプトファンは精神を鎮め睡眠効果のあるホルモンです。トリプトファンを含む食べ物、バナナ、大豆、卵の白身、牛乳、はちみつなど。レタスに含まれるラクチシンなどは睡眠作用がある。玉ねぎには自律神経を整えるVB1が豊富で、血液循環がよくなり睡眠効果がある。ビタミンB12は、体内時計を調整する働きがある。アサリ、納豆、豆腐、イワシなど。寝る前のホットミルクココアやバナナミルクは、お手軽でお勧めです。

○眠る前に時間のゆとりをつくる。室内の照明を寝る30分前から暗くする。音楽を聴きリラックスするなど。

○ぬるめのお風呂に20分から30分入る。副交感神経を優位にして安眠効果があります。

○日中の適度な運動や、静的な柔軟体操のストレッチを行う。筋肉をジワーッと伸ばすとリラックスでき副交感神経が優位になります。

○不眠で日常生活に支障のある時は(寝つきが悪く眠れない、夜中に目が覚める、朝早く目が覚める、ぐっすり眠た気がしないなど)、まず保健室に遠慮なく相談に来て下さい。専門医に相談を行いましょう。自分なりの快眠方法を見つけて、良質な睡眠をとることによって、健康的なすがすがしい朝が迎えられるよう心がけましょう。



## テクノルネサンス奨励賞を受賞しました

電子制御工学科 3 年河瀬滉貴君が、日経新聞社主催のアイディアコンテスト「テクノルネサンス・ジャパン」で、大学生・大学院生と肩をならべ奨励賞を受賞しました。本コンテストは、企業に研究開発してほしい未来の夢を提案するもので、河瀬君は、雨の持っているエネルギーを生かしたいと、雨どいに小型の水車を取り付けて発電し、更にその電力で雨水を浄化することを考えました。担任の嶋田准教授の指導が実を結びました。「企業や大学生の方たちと話ができるなど、貴重な体験をすることができた。来年もよいアイディアがあれば応募してみたい。」は受賞の感想です。全国から 417 件応募があり、各賞合わせて 23 件が選ばれました。本コンテストが、科学技術の未来に夢を見出したいたり、諸問題を解決する視点を学んだりするきっかけになればと思います。



## オープンキャンパスを開催しました

平成 21 年 12 月 5 日(土)、熊本キャンパスにおいて、平成 21 年度冬季オープンキャンパスが行われました。内容は学校説明、体験入学、進路相談、学寮見学の流れで実施しました。今回は特に在校生によるクラブ紹介、研究紹介等を実施し、好評でした。参加者は昨年同様 100 名を越えました。



## 熊本キャンパス インターンシップ成果報告会を開催しました

平成 21 年 12 月 14 日(月)に、熊本県民交流館パレアホールにおいて熊本キャンパスインターンシップ成果報告会を開催しました。成果報告として、専攻科 1 年吉村尚恭君ら 6 名と、本科 4 年今村衣杜さんら 4 名の発表及び専攻科生 26 名のポスター発表を行いました。来賓として熊本県工業連合会副会長である加藤肇 アイシン九州株式会社社長から発表者へ暖かい講評をいただきました。学生、教職員の他に、企業からも約 30 名の参加がありました。当日は、企業説明会も同場所で開催しました。

また、平成 22 年 2 月 4 日(木)には、くまもと産業ビジネスフェア(主催: 肥後銀行、熊本産業文化振興株式会社)の開催に合わせて、専攻科地場企業長期インターンシップ成果報告会を開催しました。専攻科生が来客者に地場企業で実習した内容をポスターにより説明しました。



## 企業説明会（就職相談会）を開催しました

平成 21 年 12 月 14 日（月）にくまもと県民交流館パレアにて県内外の企業 19 社を招き、本校（熊本キャンパス）本科 4 年生・5 年生（専攻科進学生）及び専攻科 1 年生を対象とした「企業説明会（就職相談会）」を開催しました。今回は校内の改修工事のため以前使用していた体育館が使用できず、インターンシップ報告会との合同開催となりました。企業説明会は企業の担当者から説明する場を提供し、高専生の職業意識・目的意識の高揚を図り、ひいてはインターンシップや就職への足がかりとなることを目的に熊本高専地域振興会の協力を得て実施したものです。企業毎のブースでは学生が企業の方の説明を熱心に聞き、真剣な面持ちでメモを取つたりする姿が見受けられ、大変有意義な企業説明会となりました。



## 八代市工業振興協議会「新技術セミナー」を開催しました

平成 21 年 12 月 16 日（水）八代市工業振興協議会主催の「第 2 回新技術セミナー」として、講演会と工場見学会を、(株)興人八代工場で開催しました。講演会では、本校 生物化学システム工学科の栗原准教授が、「生物資源の有効利用～シクロデキストリンの活用～」を演題に講演を行いました。内容は、環状の糖であるシクロデキストリンの特性（環の形をした糖の仲間で、その環の中に色々な物質を取り込む「包接」という、他の糖に見られない優れた能力）の解説と、シクロデキストリンを用いた種々の生物資源を有効かつ効果的に活用した例について、身近な食品、医薬品への応用例、生物資源への応用例を研究成果も交えて紹介しました。



## 第55回青少年読書感想文全国コンクール県審査の優秀賞に選ばれました

平成 21 年 12 月 24 日（木）、本校において「第 55 回青少年読書感想文全国コンクール県審査」の表彰式が行われました。同コンクールは、(社)全国学校図書館協議会、毎日新聞社の学校における読書推進活動の一環として毎年 29000 校を超える学校が参加しています。本校からも、本科生を中心に毎年多数の応募がされています。本年度は 2 年 1 組の水間海帆さんの作文が優秀賞に選ばれ、1 年 1 組の久世美聰さんと 1 年 2 組の森田綾子さんの作文が入選しました。本校校長室にて、表彰状と副賞を受賞されました。



左から宮川校長、森田綾子さん、久世美聰さん、水間海帆さん、神田副校長、三好図書館長

## 第15回 高専シンポジウム in いわきに参加しました

平成22年1月23日(土)、福島県いわき市文化センターで開催された第15回高専シンポジウム(共催:日本化学会、電気学会、土木学会ほか)に、生物化学システム工学科の教職員および専攻科生が参加し、2人の専攻科生が口頭研究発表を行いました。松山文香さんは「農産未利用資源を原料とするバイオエタノール変換法の検討」のテーマで、農産物の廃棄物を原料としてバイオエタノールを精製する方法に関して検討した結果について発表しました。また、長崎朱美さんが「未成熟トマト含有緑色色素の安定化」のテーマで、農産廃棄物である未成熟トマトの活用法として、青色トマトの色素を安定化させ、ゼリーなどの製品に加工する方法について検討した結果について、いくつかの応用例等を交えて発表しました。



## くまもと産業ビジネスフェアに参加しました

平成22年2月4日(木)～5日(金)、くまもと産業ビジネスフェア(主催:肥後銀行、熊本産業文化振興株式会社)が、益城町のグランメッセで開催され、八代キャンパスから、生物化学システム工学科が「生物資源を利用したバイオ技術」をテーマにブースを出展し、八代特産の柑橘類から抽出したオイルおよび馬由来物質を使った研究成果の展示や、最新の抗体エンジニアリングの紹介などを行いました。また、熊本キャンパスからは、専攻科地場企業長期インターンシップ成果のポスター発表を行いました。さらに、同時に開催された熊本県産学官技術交流会にも、両キャンパスから学生・教職員等が参加し、口頭発表13件、ポスター発表10件の発表を行いました。



その他、本校の近況はホームページに隨時掲載しています。興味のある方は、是非、ご覧下さい。

**熊本高専ホームページ:** <http://www.kumamoto-nct.ac.jp/>

### Information

#### ■授業料免除申請について(平成22年度前期分)

平成22年度前期分授業料免除の申請受付を行います。  
現在本科3年・4年・専攻科1年生で免除希望者は、平成22年4月9日(金)までに必要書類を各キャンパス担当窓口へ提出して下さい。

なお、現在本科1年・2年生については公立高校の授業料無償化及び高等学校等就学支援金の創設に伴い、取扱いが変更される場合がありますので、通知があり次第、学内掲示板等でお知らせします。

#### ■奨学金(日本学生支援機構)申請について

平成22年度日本学生支援機構奨学金の申請受付を4月中旬頃に行う予定です。申請手続きの詳細は、同機構から通知があり次第、校内掲示板等によりお知らせします。

※その他団体からの奨学金募集の案内は、校内掲示板等により随時お知らせします。

#### 連絡先

熊本キャンパス(学生課学生支援係)  
TEL(096)242-6229 FAX(096)242-5504

八代キャンパス(学務課学生係)  
TEL(0965)53-1233 FAX(0965)53-1239

# E v e n t s

平成 22 年度  
**学校行事**  
[予定]  
4月から8月まで

## 熊本キャンパス

### 4月 April

- ・4日(日)
  - ・5日(月)
  - ・15日(木)～16日(金)
  - ・27日(火)～28日(水)
  - ・29日(木)
  - ・30日(金)
- 入学式(専攻科を含む)  
始業式  
新入生合宿研修  
春季クラスマッチ  
奨学後援会総会・保護者懇談会・寮生保護者懇談会  
休業

### 5月 May

- ・28日(金)～6月1日(火)
- 高校総体

### 6月 June

- ・10日(木)～16日(水)
- 前期中間試験

### 7月 July

- ・9日(金)～18日(日)
  - ・10日(土)～11日(日)
  - ・21日(水)
  - ・30日(金)～5日(木)
- 九州沖縄地区高専体育大会  
西日本地区高専弓道大会  
編入学試験  
前期定期試験

### 8月 August

- ・7日(土)
  - ・11日(水)～25日(水)
  - ・13日(金)
- 夏季オープンキャンパス  
全国高専体育大会  
夏季休業(9月30日まで)

## Events on the school Calendar

## 八代キャンパス

### 4月 April

- ・5日(月)
  - ・6日(火)
  - ・22日(木)～23日(金)
  - ・30日(金)
- 始業式  
入学式(専攻科を含む)  
新入生合宿研修  
保護者懇談会・寮生保護者懇談会

### 5月 May

- ・25日(火)
  - ・28日(金)～6月1日(火)
- 球技大会  
高校総体

### 6月 June

- ・8日(火)～14日(月)
- 前期中間試験

### 7月 July

- ・9日(金)～18日(日)
  - ・10日(土)～11日(日)
  - ・27日(火)
  - ・29日(木)～4日(水)
- 九州沖縄地区高専体育大会  
西日本地区高専弓道大会  
編入学試験  
前期定期試験

### 8月 August

- ・8日(日)
  - ・11日(水)～25日(水)
  - ・12日(木)
- オープンキャンパス  
全国高専体育大会  
夏季休業(9月26日まで)

## 編集後記

第1回卒業式を記念して、熊本高専だより第2号のテーマは“卒業生に向けて”。「熊本高専だより」も、春の装いにしてみましたかいかがでしょうか。

今回は、門出を迎えた方々や、見守ってこられた方々から心温まるメッセージを数多く寄せいただき、充実のボリュームになりました。

ご協力頂いた皆様に心底より感謝申し上げます。

## 熊本高専だより 第2号

独立行政法人 国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校

[熊本キャンパス] 〒861-1102 熊本県合志市須屋 2659-2  
TEL 096-242-2121

[八代キャンパス] 〒866-8501 熊本県八代市平山新町 2627  
TEL 0965-53-1211

熊本高専ホームページ <http://www.kumamoto-nct.ac.jp/>

総務委員会 平成 22 年 3 月 発行